



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 OKK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6205 URL http://www.okk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮島 義嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 道岡 幸二 (TEL) 072-771-1159
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	17,057	△12.3	△113	—	△101	—	△57	—
28年3月期第3四半期	19,446	12.2	830	50.8	768	△25.2	531	△39.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 232百万円(△61.0%) 28年3月期第3四半期 595百万円(△63.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△0.73	—
28年3月期第3四半期	6.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	51,263	21,649	42.2
28年3月期	48,225	21,733	45.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 21,649百万円 28年3月期 21,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△10.2	300	△75.0	50	△94.0	50	△91.0	0.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	81,465,568株	28年3月期	81,465,568株
29年3月期3Q	2,431,190株	28年3月期	2,426,016株
29年3月期3Q	79,038,000株	28年3月期3Q	79,047,878株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 3
(4) 追加情報	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費が堅調に推移するものの、設備投資に停滞感が見られました。欧州は、英国のEU離脱決定や地政学的リスクへの懸念がある中、比較的底堅く推移しました。また、アジア新興諸国では、中国経済の停滞により、全体として成長が鈍化した状況が続きました。

一方、我が国経済は、円高進行による収益の悪化等から、企業が設備投資に対して慎重な動きが続きましたが、政府の政策効果もあり、工作機械受注は総じて堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループでは、次の100年に向け、当期を初年度とする10年間の新中長期経営計画「Neo Challenge (ネオチャレンジ)」を策定し、そのファーストステージ3年間の目標を「事業基盤の更なる強化と新事業への挑戦」と定めて取り組みを開始しています。

主力の工作機械部門においては、9月に米国のシカゴで開催されたIMTS2016 (International Manufacturing Technology Show 2016) には、量産加工に適した横形機や航空機部品等の工程集約を可能にする5軸加工機VC-X500を含むマシニングセンタ5機種を出展し、北米市場において拡販に努めました。11月に東京で開催された第28回日本国際工作機械見本市 (JIMTOF 2016) には、航空機部品の中大物ワークを対象に、難削材料を高効率に加工可能な新製品の横形マシニングセンタMCH6300Rなど3機種を出展、OKKのブランド力である重切削・高剛性の機種を中心に実演とスケルトン展示にて100年品質を謳い、更なる拡販に努めました。

また、生産部門においては、物流改革と生産改革を合体させた「OKK生産力向上プロジェクト」に注力し、安定性・信頼性の高い製品の提供、効率の高い生産体制を目指し、受注から生産、納品までのプロセスの改善を目的に、システムの構築に取り組みました。

第3四半期に入り、比較的堅調な国内を中心に売上・収益とも回復傾向を示しましたが、プロジェクトへの先行投資とシステム変更による生産への影響、第1四半期での海外の落ち込み等があったことから、全体の落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、17,057百万円 (前年同期比12.3%減) となり、営業損失は113百万円 (前年同四半期は営業利益830百万円)、経常損失は101百万円 (前年同四半期は経常利益768百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は57百万円 (前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益531百万円) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は51,263百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,037百万円の増加となりました。これは主に、たな卸資産の増加2,395百万円、投資有価証券の増加307百万円、現金及び預金の増加118百万円、受取手形及び売掛金の増加118百万円などによるものであります。

負債は29,613百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,121百万円の増加となりました。これは主に、借入金の増加2,339百万円、支払手形及び買掛金の増加449百万円、社債の増加200百万円などによるものであります。

純資産は21,649百万円となり、前連結会計年度末と比較して84百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払による減少316百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上57百万円、その他有価証券評価差額金の増加236百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては平成28年11月11日公表いたしました数値から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,023	4,141
受取手形及び売掛金	7,630	7,749
たな卸資産	10,790	13,185
その他	497	573
貸倒引当金	△36	△57
流動資産合計	22,905	25,592
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,426	15,426
その他(純額)	6,643	6,742
有形固定資産合計	22,070	22,168
無形固定資産	625	617
投資その他の資産		
投資有価証券	2,025	2,333
その他	613	566
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,623	2,884
固定資産合計	25,319	25,670
資産合計	48,225	51,263
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,294	4,743
短期借入金	6,277	7,639
1年内償還予定の社債	—	100
未払法人税等	43	43
賞与引当金	244	66
製品保証引当金	75	71
その他	1,303	1,484
流動負債合計	12,238	14,149
固定負債		
社債	100	200
長期借入金	4,207	5,184
再評価に係る繰延税金負債	4,521	4,521
退職給付に係る負債	4,018	3,906
その他	1,405	1,651
固定負債合計	14,252	15,463
負債合計	26,491	29,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,283	6,283
資本剰余金	1,455	1,455
利益剰余金	4,434	4,061
自己株式	△535	△536
株主資本合計	11,637	11,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	691
土地再評価差額金	9,764	9,764
為替換算調整勘定	42	89
退職給付に係る調整累計額	△166	△159
その他の包括利益累計額合計	10,095	10,385
純資産合計	21,733	21,649
負債純資産合計	48,225	51,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	19,446	17,057
売上原価	14,829	13,411
売上総利益	4,616	3,646
販売費及び一般管理費	3,786	3,759
営業利益又は営業損失(△)	830	△113
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	49	41
為替差益	—	70
売電収入	21	21
その他	6	12
営業外収益合計	86	154
営業外費用		
支払利息	98	99
為替差損	11	—
その他	38	43
営業外費用合計	147	142
経常利益又は経常損失(△)	768	△101
特別利益		
有形固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
災害による損失	—	8
有形固定資産処分損	1	2
社名変更費用	81	—
事業整理損	9	—
特別損失合計	92	10
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	676	△111
法人税、住民税及び事業税	163	22
法人税等調整額	△18	△76
法人税等合計	145	△53
四半期純利益又は四半期純損失(△)	531	△57
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	531	△57

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	531	△57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	236
為替換算調整勘定	3	47
退職給付に係る調整額	97	6
その他の包括利益合計	64	290
四半期包括利益	595	232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	595	232
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。